

気象計

温度・湿度・気圧計

Thermo/Hygro/Barometer

取扱説明書 保証書付

このたびは、エンペックス製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。

なお、この説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

1 安全上のご注意

- 図記号には、次のような意味があります。
安全に関する重要な内容ですので必ず守って下さい。



必ず実行

必ず指示に従う



禁止事項

絶対に行わない



警告 この表示の欄は、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



設置する際、しっかりと確実に設置する。
※固定が不十分な場合、落下するおそれがあります。



分解して内部に触れたり、改造・調整しない。
※事故・故障の原因となります。



電池は幼児の手の届かない所に置いて下さい。
※万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談して下さい。



乾電池に表示してある注意内容を必ず守る。
※守らないと発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。



注意 この表示の欄は、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容。
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



直接蒸気を当てたり、息を吹き込まない。
※ホコリや水分が付くと、正確な表示をしなくなる恐れがあります。



落とすなど乱暴に扱ったり、強いショックは与えない。
※精密機械ですので、故障や精度不良の原因になります。



次のような場所では使わない。
※直射日光が当たる場所、ストーブや温風器の熱風が直接当たる場所など。
※結露・凍結の恐れのある場所。
※台所などの、水、または液体状のもので濡れる可能性のある場所。
※浴室や加湿機の近くなど、湿気の多い場所。
※強い磁気や振動の激しい場所。(大型スピーカー、大型モーターなどの近くでは、電子部品がこわれることがあります。)



適切なお手入れを行う。
※ケースの汚れを落とすとき、シンナー、ベンジン、ミガキ粉、スプレー式クリーナー、各種ブラシなどは使用しないで下さい。油汚れなどは、中性洗剤を使用して下さい。



- 本製品は、専門的な計測器として製造されたものではありません。ご使用にあたっては、製品の特性をよくご理解のうえ、ご使用下さい。
- 精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、弊社では一切その責任を負えませんのでご了承下さい。

2 製品特徴

- 気圧計、温度計、湿度計の3つが一体になっています。
- 気象の様子を気圧、温度、湿度などから全体的に観測できるため、毎日の生活管理に広く役立ちます。
- 気圧計を読み取れば、あなたの住んでいる地域の大体のお天気予測が手軽にできるようになります。

3 製品仕様

温度計	センサ	パイメタル式 EX 温度センサ または ガラス管
	測定範囲	表示目盛範囲
	精 度	パイメタル式温度センサ:±1℃以内(0℃～+40℃)
		ガラス管(1℃目盛):±1℃以内(0℃～+40℃)
ガラス管(2℃目盛):±2℃以内(0℃～+40℃)		
湿度計	センサ	バイマテリアル式 EX 湿度センサ
	測定範囲	表示目盛範囲
	精 度	±3%RH以内(35～75%RH 常温)
気圧計	センサ	アネロイド型
	測定範囲	表示目盛範囲
	精 度	±2hPa(980～1020hPa 左記以外±6hPa)

※製品の種類により、温度計の精度が異なります。

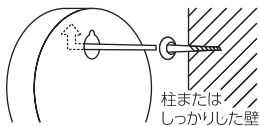
4 設置のしかた

- 温度計・湿度計はパッケージから出し、設置してから約1時間後に正しい値を示します。
(パッケージに入った状態では正しい値を示さない場合があります。)
- 同じ部屋の中などで移動し直した場合でも、正しい値を示すまで約1時間かかる場合があります。
- 取り付け位置は、目の高さ=約1.5mが最適です。

⚠ 設置時の注意

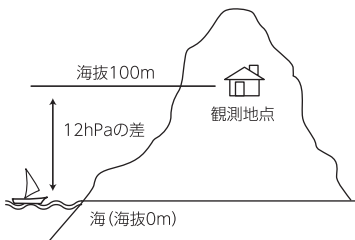
- ❗ **壁面の材質に合ったネジを使う。**
必ず守る ※壁掛け型の製品を壁に設置する際は、しっかりと製品荷重に耐えられるよう固定して下さい。
- ❗ **取り付けネジの止まり具合を確認する。**
必ず守る ※止まり具合が不完全ですと、製品が落下してケガをするおそれがあります。
- ❗ **壁面に垂直に取り付ける。**
必ず守る ※機械の構造上、垂直にした状態で正しく作動します。

- 現在の建物には様々な建材が使用されており、木製だけでなくコンクリートや石膏ボード等の壁があります。このためDIY店等では、材質に合ったネジやワグが販売されておりますので、お客様の設置場所の材質に合ったネジをご使用下さい。(例/木壁の場合→ネジは、木ネジを使用して下さい。)



5 高度による気圧変化と海面更正

- 気圧は高度によって変動し100m高くなると約12hPa低くなります。そのため高度の高い場所と低い場所とで観測される気圧は異なります。
- 天気予報などではそれぞれの観測地点の高度の違いを無くすため、観測地点で実測された気圧を海拔0mでの値に換算した気圧値が使われます。
- このように任意の高度での実測気圧を海拔0mでの値に換算することを「海面更正」といい、海面更正された気圧値を海面更正気圧、または海面気圧といいます。
- 気圧計で天気を予測するには、気圧が高くなるか低くなるかが目安となり、気圧の値は重要ではありませんので気圧計の調整は必ずしも必要ではありません。(天気の読み方は項目7「気圧計でお天気を読むには」をご参照下さい。)
- しかし、ご使用場所の高度によっては天気予報の気圧との違いが大きくなったり、気圧計の指針が目盛を超えてしまうなどの不便が生じる場合がありますので、おおよそでよいのでご使用場所近辺の海面更正気圧の値に調整してお使い下さい。



6 気圧計の調整のしかた

- 調整は気圧計の裏にある調整ネジを、小さなマイナスドライバーでゆっくり回し、正しい目盛に合わせて下さい。(うまく合わせるには、合わせようとする目盛の2目盛位手前の目盛に合わせ、カバーをトントンとたたいて下さい。)



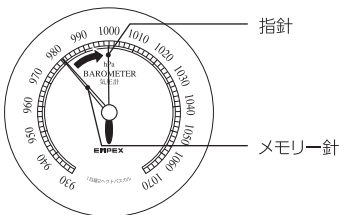
- ※必ず使用する場所で調整して下さい。
- ※気圧の数値は、お住まいの地域、その日の気圧配置等によって違います。新聞やテレビ、インターネットなどで適切な数値をお調べ下さい。

7 気圧計でお天気を読むには

■メモリー針と指針の差がお天気の方向

- お天気を予測したい時は、気圧が高くなるか低くなるかという気圧の変化する方向と変化の大きさを見ます。

- ①メモリー針（ガラスの上のツマミ）を回し、計測針（文字盤上の針）にぴったり重ねます。

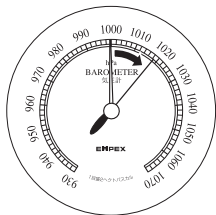
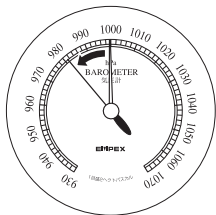


指針が左（低気圧の方向）に動けばお天気は下り坂。

- ②気圧が変わると指針が左右どちらかに動きます。



指針が右（高気圧の方向）に動けばお天気は上り坂。



指針が動かなければ、お天気は変わらないでしょう。

8 温度(°C)・湿度(%RH)について

■快適な温度と快適ゾーン

- 私たちが過ごしやすと感じる環境は温度と湿度の組み合わせで決まり、一般的に温度は18～25℃、湿度は40～65%RHと言われています。また、冷暖房器具による暖め、冷やし過ぎによって外気との温度差が5℃以上になると健康に良くありません。室内の温度・湿度をチェックし適温・適湿を心がけましょう。

■湿度について

- 湿度とは、空気の湿り気の度合いです。一般的に湿度と言えば、空気中の水蒸気量と飽和水蒸気量との比を百分率で表した相対湿度(%RH)を指します。
 - 空気中には常に水蒸気が含まれているので、天気が悪くなると空気は湿っぽくなり、晴天が続くと乾燥しやすくなります。
 - 空気は「かたまり」で移動するため、同じ室内でも風通しのいい場所と、壁際や角など空気が淀みやすい場所とでは、計測される湿度の数値は大きく異なる場合があります。
- ※本製品は、設置された場所の温度・湿度を測定します。テレビなどの天気予報などで発表される温度・湿度の数値とは異なります。

■温度・湿度計の精度について

- 本製品の温度・湿度計は家庭用計器としては極めて高精度の仕様で製造されておりますが、計測器の特性上、年月の経過とともに徐々に精度が劣化することは避けられません。しかし、ご家庭でのご使用では、相当期間にわたり十分に信頼できる品質ですので、安心してご使用下さい。
- あくまでも日常生活における温度・湿度管理の目安としてご使用下さい。
- 万が一、ご使用後数年を経過し、精度の検査・調整をご希望の場合は弊社お客様相談室にご連絡頂ければ、実費にて承ります。(調整には通常10日位かかり、お預かりする製品の往復運賃と調整費用はお客様ご負担となります。)

9 気圧とお天気の関係について

■気圧とは?

- 気圧とは、地表に対する空気の重さ(圧力)のことです。地表は厚い空気の層でおおわれており、その空気にも重さがあります。そのため、高度の低い場所では空気の圧力が大きく、高度が高くなるほど小さくなっていきます。この空気の重さ(地表にかかる圧力)のことを気圧と呼びます。

■高気圧・低気圧と天気の変化

- 空気は気圧の高い所から低い所へ流れます。そのため、高気圧の中では下降気流が起こり、下降した空気の温度が上がります。このときの空気は、水分を多く含むことができ、雲が消え、晴れへと変わります。
- 低気圧の中では上昇気流が起こり、空気は上空に持ち上げられ、膨張しながら冷えていきます。このとき、空気中に含まれていた水蒸気は霧や雲となって、やがて雨となります。

10 アフターサービスについて

- 保証期間内に、正常な使用状態で万が一故障した場合には、弊社サービスセンターまたはお客様相談室にお問い合わせ下さい。
- 保証内容は、保証書の保証規定に記載した通りです。
- この製品の補修部品の保存期間は製造打ち切り後5年間です。
- ※補修部品とは製品の機能を維持するために不可欠な本体部品です。
- 修理のとき、必要な部品や付属品などは一部代替品を使用させて頂く事もありますので、ご了承下さい。
- 保証期間が過ぎても補修部品の保存期間中は原則として有償修理が可能です。
- 修理可能な期間は、ご使用条件により著しく異なるため、精度等が元通りにならない場合がありますのでご了承下さい。
- 贈答品や転居後についてはお客様相談室へご相談下さい。
- 修理ご依頼の場合は、下記欄に必要な事項をご記入下さい。

受付年月日	修理内容	

■販売店の方へ

保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証書

保証規定の内容により無償で修理および調整を行うことをお約束するものです。

機種名:	保証期間:お買い上げ日より本体1年間
お買い上げ日:	
お客様名:	
ご住所:	
お電話番号:	
販売店名:	

■保証規定

1. 説明書の注意に従った正常なご使用状態で万が一故障した場合は、お買い上げ後1年間、無償で修理いたします。尚、故障の内容によりましては、修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えてお買い上げ店または弊社サービスセンターへご持参またはご送付下さい。
3. 保証期間内でも次の場合は、有償修理となります。
 - 誤用・乱用・および扱い不注意による故障
 - 火災・地震・水害および盗難等の災害による故障
 - 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - 消耗品および付属品の交換
 - 本保証書の提示が無い場合および必要事項(お買い上げ日、販売店名等)の記入が無い場合
- ※上記有償修理の場合、送料はお客様のご負担となります。
4. 当製品の故障またはその使用上生じた損害については当社はその責に任じません。
5. 保証規定により修理を実施した場合は、修理報告書により修理内容をご報告します。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。また、本保証書は再発行しませんので、大切に保管して下さい。

※本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証書に記入されたお客様の個人情報は、製品の修理・交換の製品発送のみに使用します。また、弊社からの各種情報提供のために使用する場合があります。それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ありません。

販売元:エンペックス気象計株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル

お客様相談室 TEL 03-3494-4010